

「探究型授業」実施に向けての生徒の活動

- ① 個人で考える。（予習を中心とした家庭学習）→**自律的に行動する力**
- ② 実験から仮説を立て検証する。→**情報分析活用力**
- ③ 仲間と協力するが最後は1人で仕上げる。→**コミュニケーション力**

SSH指定校として「課題研究」や「大学での研究」を意識させる。

本日の公開授業について

「実験を取り入れた授業の提案」

■単元目標

- ・論理的思考力育成
- ・表現力育成（答案の書き方）

■本時の目標

実験から仮説を立てる。
（情報分析活用力）

■生徒へのメッセージ

- ・困ったらまず実験をする。
- ・知っているものをどう使うか。
- ・仲間と協力して研究する。
- ・最後は一人の力で答案を作る。

■しかけ

- ・既習事項と新しい学びを繋げる。
- ・**40人全員で同じゴールを目指す。**
- ・**授業で完結させない。**

教材研究・授業デザイン

■答案指導

毎時間全ての授業で小テストを実施。その結果を基に、誤答例をなるべく多く紹介する。

■早口でしゃべる

生徒は成長していく。早口でも慣れてくれば生徒は聞き取れるし理解できる。

■授業のネタ探し（入試問題以外）

インターネット、教科書会社の出版物、各種勉強会、数学検定・オリンピック、**模試**等

授業について探究の工夫

■生徒に予習をしてもらう。

■生徒に当てない。

■教師（有岡）の発問

「なぜ？」「僕ならこうする」

■全員が発言するブレスト会議。

今後の課題（大学の授業を意識して） 「ゼミ形式の問題演習の実施」

教師なので伝えたがるが与えるだけでは生徒は自律出来ない。生徒の主体性を活かす授業を実施する必要がある。